



やまがた 議会だより

平成27年10月

No. 114

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



小学校運動会

- | | | | |
|--------------|--------|----------|----------|
| ■第3回議会定例会 |2 | ■一般質問 |4~7 |
| ■主な議案 |2 | ■議会日誌 |7 |
| ■東筑摩郡村議会議員大会 |3 | ■キャッチボール |8 |

平成27年第3回山形村議会定例会

26年度決算を認定

第3回定例会は9月4日から16日までの13日間の会期で開催された。村から提出された平成26年度会計決算7件の認定など、全23件（報告2件、同意1件、諮問1件、認定7件、議案7件、請願1件、陳情1件、発議1件）を審議し、いずれも原案可決した。請願1件、陳情2件が提出され各常任委員会に付託され請願・陳情各1件が採択され国・県の関係方面へ意見書を提出した。一般質問には10人が立ち、村政全般にわたって質問した。

報告

- 平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 村の義務に属する和解及び損害賠償の額の専決処分について

諮問

- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 百瀬悦子さん⇨下竹田を再任（平成28年1月1日から平成31年12月31日までの3年間）

同意

- 山形村固定資産評価審査委員会の選任について
- 上條 勝さん⇨下竹田を再任（平成27年10月1日から平成30年9月30日までの3年間）

認定

- 平成26年度山形村一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成26年度山形村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成26年度山形村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

議案

- 平成26年度山形村水道事業会計剰余金の処分について
- 山形村行政手続条例の一部を改正する条例について
- 平成27年度山形村一般会計補正予算（第2号）
- 平成27年度山形村介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成27年度山形村清水高原簡易水道特別会計補正予算（第1号）
- 平成27年度山形村ふれあい児童館第2児童クラブ施設整備工事の請負契約の締結について（以上6件 全会一致で可決）
- 山形村個人情報保護条例の一部を改正する条例について（賛成多数で可決）

発議

- 山形村議会会議規則の一部を改正する規則について
- 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書
- 私立高校への公費助成に関する意見書（以上3件 全会一致で原案可決）

福祉文教常任委員会 報告

○平成27年度山形村一般会計補正予算の主なもの

歳入歳出に1億37,821千円を36億52,971千円とした。歳入の主なものは、地方交付税51,016千円、歳出の主なものは、庁内コンピュータのセキュリティ関連で15,000千円、繰り上げ償還61,000千円、財政調整基金積み立てで54,109千円。



7月9日(木) 閉会中の事務調査を保健福祉センター「いちいの里」で行なった。「Aコープ」や「アップランド」の撤退により買物弱者が増えたことを受け、福祉バスの運行を見直し、「ビッグ」回りとした。しかし新たな問題が生じ、住民の皆さんから福祉バスが使いにくくなったとの声が上がってきた。

そこで全委員が実際に福祉バスに乗ってどこが問題点かの検証を行なった。その後保健福祉課職員と質疑応答をし、今後見直す方向を探るとの結果を得た。

平成26年度
決算一般会計

33億5,111万円に

一般会計 1億1,510万円の黒字決算

平成26年度 各会計の決算概要

(単位：円)

区分	歳入	歳出	差引額	実質収支額
一般会計	3,490,927,569	3,351,111,453	139,816,116	115,109,116
国民健康保険特別会計	1,102,904,033	1,014,935,817	87,968,216	87,968,216
後期高齢者医療特別会計	63,438,648	63,318,848	119,800	119,800
介護保険特別会計	694,021,264	678,792,494	15,228,770	15,228,770
清水高原簡易水道特別会計	16,114,893	14,679,308	1,435,585	1,435,585
公共下水道事業特別会計	443,154,026	429,196,787	13,957,239	13,957,239

水道事業会計 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 営業収益	183,364,874		
2. 営業費用	152,222,786		
営業利益	31,142,088	(1-2)	
3. 営業外収益	12,626,424		
4. 営業外費用	13,416,491		
経常利益	30,352,021	(1-2+3)	
5. 特別損失	969,600		
当年度純利益	29,382,421	(1-2+3-5)	
前年度繰越利益剰余金	13,168,190		
当年度未処分利益剰余金	42,550,611		

剰余金処分

未処分利益剰余金	42,550,611
減債積立金	1,000,000
建設改良積立金	25,000,000
次年度繰越金	16,550,611

実質公債費比率3.6%に前年度より改善2.6ポイント

村の平成26年度決算は歳入34億9,092万円、歳出33億5,111万円となり翌年度への繰越し財源を差し引き黒字決算となった。村税収入状況全体では前年対比37,865千円の増収となったが、未収額(滞納繰り越しも含む)36,561千円で、前年より6,264千円減ったが税の公平からも滞納解消につとめてほしい。

歳出の主なものは、平成27年発行のプレミアム商品券92,450千円(繰越明許)、民生費社会福祉費では障がい者等自立支援扶助費1億37,226千円、老人福祉費1億15,932千円、児童福祉費として山形保育園費1億92,950千円、衛生費のうち塵芥処理費(ごみ処理費)89,346千円、家庭系可燃ゴミが若干増加しています。農林水産費では平成26年2月の雪害被害に対し32,419千円の補助金を、商工費では住宅リフォーム事業補助金19,907千円を、土木費では4m未満の道路改良を含め道路維持費として48,691千円、また松本広域連合消防費負担金として95,628千円を歳出しています。教育委員会関係では学校管理費を含め総額2億21,811千円(繰越明許41,558千円含む)が執行されました。

解説：実質公債費比率とは地方公共団体の財政の健全の判断を示す4つの比率の1つでこの比率が18.0%になると公債(借金)発行許可団体になり25%を超えると起債が認められなくなるとされています。村は健全な運営がなされているといえます。但し、大型の事業が少ない事等も数値が低い原因となります。

第66回

東筑摩郡村議会議員大会

歩道新設(主要地方道塩尻鍋割穂高線・

上竹田地区)の早期完了について



去る9月3日東筑摩郡村議会議員大会がミラード館において、東筑5村の議会議員が出席し開催された。大会では、それぞれの村が抱える

道路整備関係の要望が出された。

山形村からは、塩尻鍋割穂高線・上竹田地区の歩道新設の早期完了を要望する議案を、西牧一敏議員が趣旨説明を行ない全会一致で可決された。

議事後、松本大学講師福島明美先生による講演が行なわれた。

今回は地方創生戦略について、他の市町村の真似をするのではなく、それぞれの村に合った戦略を立てることが重要であり、そのために地域づくりコーディネーターが必要である、との講演を聴いた。

そこが聞きたい

一般質問

9月議会定例会は7日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って10人が質問した。

第5次山形村総計画について

村長 村単独での補助を準備する



赤羽千秋 議員

Q 農業の担い手の育成確保について。

A 村長 農業従事者の高齢化が進むなか、新規参入を対象に国の手厚い補助制度とは別に、地元20代、30代の若者に対して、少額ではあるが村の単独での補助を準備し、若い農業者が集う農村青年会議への支援などを通して、より就農しやすい環境の整備に努めていきたい。

Q 農作物の生産、ブランド化の促進と地

域特産物の開発について。

A 村長 山形村で育つ農産物の品質の高さは広く知られており、誰もが認めているところだ。生産から加工・販売までを一元的に行なう「農業の6次産業化」が、

村内にもいくつかの芽が吹き始めた。観光農業の定着や、JAを中心に進められている果樹の新技術の導入など、いずれも今後の進展が期待される事業に対し、様々な形で支援を続けていきたいと考えている。

その他に、遊休農地について質問した。

施政方針の

進捗状況を検証する

村長 概ね遅滞なく進んでいる



西牧一敏 議員

Q 村長は健康と農業、健康と観光、健康と

福祉等のスローガンをあげたが現在はそのようになってきているか。

A 村長 農業については昨年提案を受けた、銀座NAGANOで、来年2月出店する予定である。また、山形村の特

産である長芋網室の更新のために支援をする。次に健康によいとされる長芋を農村生活マイスターの料理レシピと料理技術で全国的PRをした

A 村長 山形保育園では配置基準に従い保育士を配置しているが、中途入園においては、お断りする場合もある。しかしながら、本年度は中途入園の希望者のうち1件を、やまのこ保育園を紹介した。現在のところ、待機児童はいないと、捉えている。

健康と観光については、いろんな地域、人材との交流を通して村を元気にしていきたいと考えている。

Q 未満児・待機児童の解消はなされているのか。

A 村長 「看板類の整備」として、できるものから対応を考えていきたい。

役場周辺の除草は

中途半端なまま

村長 業者には再三指示した



大池俊子 議員

途半端なまま、日本一明るいとは言いがたいが、

A 村長 村のトレセイン・児童館・ドーム等の周辺・鷹の窪公園等一つの請負範囲として、指定範囲を業務仕様書に定め2万2千6百㎡を請負に出した。今年度初めて参入した事業者のため

Q 日本一元気な村づくりを掲げているが、イベントが終っても役場周辺の除草は中

Q 「やまのこマーク看板」が新たに設置されたが従来の「案内板」「農業車輛優先」な

A 村長 できるだけ使用しない方がよい。



シルバーによる手入れ

子ども医療費助成を 高卒まで拡充を

村長 早期実施に向けて前向きに検討する



大月 民夫 議員

長野県が表明した「子育て支援戦略」は、市町村との協働により支援策を強化し「みんなで支える子育て安心県」を構築するとし、特に子育て世帯の負担感が大きい「保育料」と「医療費」に対する負担軽減策を講じた。そこで村の今後の指針をうかがう。

山形村の指針は。

高卒まで拡充を

村長 児童が3人以上いる世帯の第3子以降の子に対し、保育料の月額6千円の軽減を図った。「同時入所」要件撤廃については、今後前向きに検討していく。

は、県の支援範囲が拡大したことを受け、高卒まで助成する自治体が急増している。山形村も早期に高卒（18歳）まで支援拡充の英断を。

村長 少子高齢化の中で、福祉の充実と、住みやすい村づくりを進める観点から、早期実施を目指し検討する。

その他に、誕生記念樹の交付制度について議論した。

「健康寿命延伸」について

村長 現在は準備段階である



上条 浩堂 議員

「健康寿命延伸」について。村長 松本市より講師を招き、保健福



保育園運動会

清水高原管理組合について

村長 維持発展する運営体制を検討



籠田 利男 議員

清水高原の別荘にも空き家が目立つようになり、今後村の管理組合に対し、管理運営はどのようにするのか。

村長 別荘利用者とのさまざまなニーズ

「健康寿命延伸」について。村長 松本市より講師を招き、保健福

に込める魅力的な観光保健休養地として維持発展を考えた村のかかわり方あるいは管理組合運営体制を検討していきたい。

清水高原の空き別荘のこれからの管理は。村長 施設面では、管理組合で年間を通して業務委託をしている。清水高原の観光との関係は。

清水高原の別荘にも空き家が目立つようになり、今後村の管理組合に対し、管理運営はどのようにするのか。

別荘利用者とのさまざまなニーズ

る。

その他、健康産業としての企業のデモや産官学共同ヘルスケアネットへの参加、村民を対象としての「健康の集い」を開催した。

今後の目標は、健康は単発的な「歩く」とか「運動」ではなく、施策として進めるためには「村民の健康状態や課題」を正しく把握し、その上で方針を定め「村民に見える目標」とすることだ。

今後検討委員会で結果がまとまり、目標が定まり次第村民に示す。



ピアやまがた敬老祭

健康寿命延伸の取り組みは

村長 重要な施策として実行する



新居 禎三 議員

れるのか。

A 村長 現在は、方向性や目標を定める

医療関係者・有識者・村内関係者等を交えた検討委員会を立ち上げるところである。役場体制は特に若手職員の発想に期待して全庁で取り組みたい。

村民にとっても重要な施策であり、いろいろな意見を聞きながら、総合

戦略に反映させ事業を推進していきたい。

Q 現在実施している胃がん検診において、国は来年度から内視鏡検査も推奨する方向である。

また、検診の前段で血液検査でわかる胃がんのリスク検診を実施しているところもある。村は今後どのように対応していくのか。

A 村長 内視鏡検査

については、シヨックや出血などの場合の対応など医療機関での実施が必要であり、集団検診

としては実施できない。胃がんリスク検診には、効果を判断する証拠が不十分であり、導入については当面考えていない。



健康のつどいで行なわれた各種チェックの様子

地域を守るセンサー

村長 取り入れたいシステムである



三澤 一男 議員

質問するが、村としてはどのような対策を取っていくのか聞きたい。

A 村長 本年度山形

村に適した方法等を調査研究し鳥獣対策協議会を中心に、住民から意見をうかがって主たる対

Q 熊以外の鳥獣に対する対策は。

A 村長 猿等の被害

も発生している。ある程度の個体調整の必要もある。檻の設置を補正予算に計上した。

村民の皆さんにも、栗や柿などをなりっ放しに

策を取っていきたくて考えている。本年度は鳥獣被害実施隊による巡回駆除と、猟友会も合わせて活動し一定の成果が出ていると思っている。

Q システムは福祉や介護、防災、気象等それぞれの

集中管理には効率的であり、近隣自治体でも鳥獣被害対策に利用例もある。今後情報システムの推進と利用を検討していきたい。

全国学力・学習状況調査の結果は

教育長 調査結果については把握・分析



竹野 入恒夫 議員

Q 文部科学省は、平成27年4月21日に実施した平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について公表した。本調査は、国語、算数・数学、理科の3教科で、小学校6学年及び中学校3学年の全児童生徒を対象とした

悉皆（しっかい）方式により調査を実施した。なお、調査の結果については、8月25日に各都道府県教育委員会及び調査を実施した学校を設置管理する各教育委員会に、8月26日に調査を実施した各学校に提供した。

A 教育長 今年度の結果については、今

後、調査結果をもとに、小学校と教育委員で児童の学力の状況や課題、学習意欲・環境・生活習慣、教育条件の整備の状況等をそれぞれ把握・分析するとともに、各調査の相互関係についても分析する。

Q その結果を踏まえて、今後どのように対処するのか。

A 教育長 分析の結果により明らかになった課題を踏まえた授業の取り組み、校内研修の充実、家庭における学習習慣の確立に関する保護者への働きかけ、地域の支援者等への協力等、教育指導等の改善に向けた取り組みをする。

その他に、介護保険・松くい虫について質問した。

住民の足の確保のため、公共交通の充実が課題だ

長バス代の軽減、福祉バスの充実
村等、利用者増対策を考える



増澤 武志 議員

Q アルピコ交通山形線の維持、確保のための対策をうかがう。

A 村長 不採算路線とうかがっている。利用者増加のため、運賃助成が効果的と考える。村として将来にわたり可能な施策を探っていく。

Q 西部コミュニティバスの利用促進対策は。

A 村長 利用者が年々増加傾向にある。検討会に利用者の立場で意見を伝えることが必要と考える。

Q 福祉バスの利便性向上対策はどうか。

A 村長 路線やダイヤの見直し、停留所の整備、バスを小型化し

複数台で運行する等が必要と考える。

Q 高校生のバス利用者が減っている。保護者の送迎等の自助努力は負担が大きい。通学の足確保と同時にバス路線確保のため、バス代補助の考えはあるか。

A 村長 バス代補助により利用が伸び、路線の確保につながれば補助の効果が出る。保護者の負担軽減は何らかの対策を講じる必要は感じる。

Q 実施計画にある「路線バス補助」に5百40万円を見積りしてあるが具体的な内容は何か。

A 村長 平成28年度からの実施を見込んだもの。松本駅までの料金を一律5百円とするよう助成するもの。実施にあたって関係機関や運行会社との協議が必要になる。

議会日誌

△7月▽

- 1日 朝日村・山形村議会議員研修会
- 7日 鉢盛中学校組合臨時議会
- 9日 福祉文教常任委員会
- 17日 定例全員協議会
- 23日 総務産業常任委員会議員研修会

△8月▽

- 15日 成人式
- 18日 山形じゃんずら
- 21日 公営企業会計勉強会
- 21日 定例全員協議会
- 30日 保育園運動会

△9月▽

- 3日 東筑摩郡村議会議員大会
- 4日 第3回議会定例会開会
- 5日 ピアやまがた敬老祭
- 6日 地震総合防災訓練
- 7日 一般質問
- 9日 敬老会（トレセン）
- 10日 議会全員協議会
- 11日 総務産業常任委員会
- 14日 福祉文教常任委員会
- 16日 第3回定例会最終日
- 17日 松くい虫被害対策講習会
- 18日 福祉文教常任委員会（民生児童委員懇談会）
- 26日 小学校運動会
- 27日 秋の環境整備

第3回定例会に傍聴いただきましたこと、お礼申し上げます。

また、定例全員協議会、総務産業常任委員会、福祉文教常任委員会を開催しておりますので、傍聴される方は議会事務局にお尋ねください。

次回の定例会は12月です。一般質問には、多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

旬の味

今、旬の味と言えばサンマとなる。今年は小振りで漁獲量も少な目と報道されている。そんなサンマの取れる日本近海も危機を感じる海となっている。

さて連日のように報道されていた「安保法案」。これを決めた理由を、私も素人なりに考えてみた。与党であっても野党であっても両党共日本の安全、平和を願っているはず。先ず「安保法案」ロシアとは北方領土の問題、韓国とは竹島問題、中国とは尖閣諸島問題、台湾とは釣島周辺の問題が出ている。今となっては何故日本周辺の問題が、日本に対し行動を起こして来るのか？ 考えるに米国と沖縄辺野古問題がある。国内で探めている今こそが、日本周辺国から見ればチャンスのはず。狙われて当たり前の条件である。国会の代議士の先生方も日本の安全・平和、戦争をしない憲法9条を考えるなら、本当の安全について考えて欲しい。野党の先生方の話を聞いていると、この安保法案を代表した法案を利用して政権を奪うことを優先し、また続く小政党もこれにあやかろうとしている。民主主義で可決した法案を、与党も野党も間違いのないよう公正運営をして欲しいと望みたいものである。

我々国民は政権を治めるのは与党とか野党とか言っている場合ではなく、先人の人達が命を張って今の日本を築きあげてくれたことを忘れず、そして何よりも東北や茨城常総市の災害のことを先ず優先に早期復興を全議員の先生方に考えていただきたいと、地方議員の一人としてお願いしたいものである。

籠田 利男

キャッチボール

私の一言

みなさんと議会 長寿のみなさんに聞く



米寿を迎えて

上條利昭

(中大池)

私は今年88歳の米寿を迎えます。年に応じて腰も曲がり、力も落ちましたが、家が農家ですの

で、来年に米寿を迎える妻と二人で無理のない程度で畑へ出て、働き過ぎず休み過ぎずで軽い仕事をしております。雨の日

などは読書などもします。

畑はビッグ（大型商店）の近くにあり、ビッグに入ります。又、歩いてビッグに行く人もあり、家の畑の中道を通り、私共と話をして顔なじみとなる人もいて、楽しみの一つです。

一日の仕事を終え、夕食時の一杯の晩酌でよく眠れ、早寝早起きを心掛けております。

健康な体に生み育ててくれた父母や、温かく見守ってくれている家族に感謝しております。



長寿健康の秘訣

山口晴子

(小坂)

私は子供の時から走ることが好きでした。高校は陸上部に入り、バレーもやりました。村へ来てからは村民運動会のリレーや分館対抗の卓球やバレー・ドッチボールへ出

ました。プールの出来た時は水泳もやりに行きました。好きな運動が出来て幸せでした。

山形村はクラブ活動が色々あります。私はコーラスと詩吟と扇舞をやり

ました。今はコーラスだけですが、他に勉強会は、食生活改善推進協議会と農協女性部の会です。その他のグループは3つばかりあります。会の中では一番年上なのですが若い方との付き合いが私にとって若さを保ってくれます。

私は今年9月7日で、89才になりました。最近、「白萩の友」という句集を出版し自分史ものせました。先日2階を片付けていましたら、結婚前の日記が出てきました。「自己を追求し自己の向上を図れ自分を愛



「汝の全力をつくせ」をつらぬく

本庄日出子

(上大池)

せ、愛すると云う事は、自分をこき使う事だ活眼を広く、ゆたかな美にそこがれ真実に生きる事と瞬間に善をなせ。優しい心明るく、朗らかに生きよ。」とありました。其の気持は現在でも変わっていませんので、びっくり

してきました。今は書道塾、民話、俳句クラブと婦人会の仲間の日の出会など大勢の友に助けられ日々感謝の気持ちで生きて居ります。大勢の人と楽しく話す。おしゃれをして自分のしたい事をきまりよくする。これが若さの秘訣かと思つて居ります。音楽が好きで、また韓国ドラマなど観て余生を楽しく生きていきたいと思つて居ります。